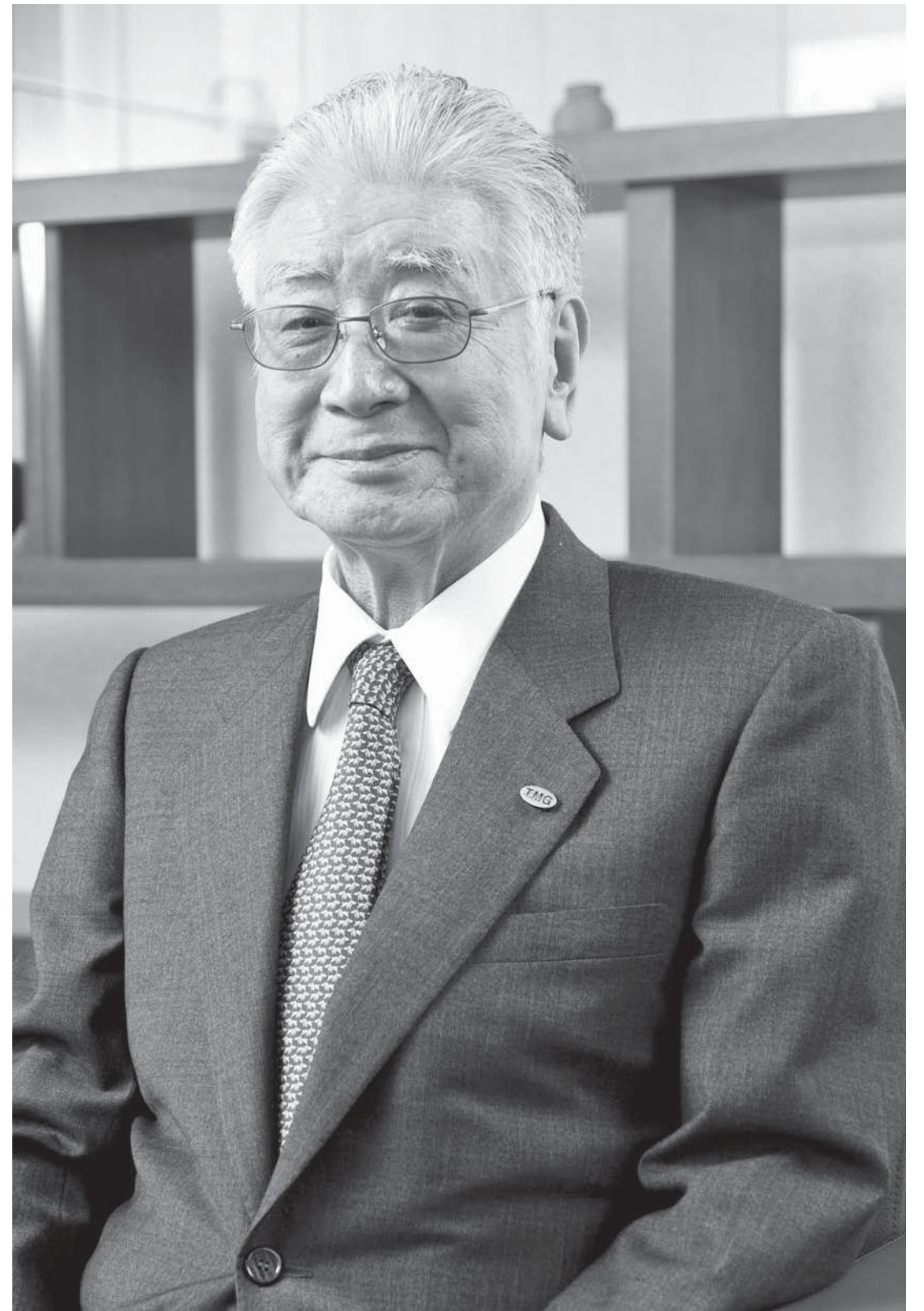


戸田中央メディカルケアグループ 創立者 名誉会長 中村 隆俊氏を偲ぶ



戸田中央メディカルケアグループ 中村隆俊名誉会長

地域医療の発展に尽くした 医療界の巨星

戸田中央メディカルケアグループ(TMG)創立者の中村隆俊氏が2022(令和4)年12月9日、95歳で亡くなった。北海道瀬棚郡瀬棚町(現・久遠郡せたな町)出身。長兄の故哲夫氏が東京都板橋区で開設した板橋中央病院(現・板橋中央総合病院)を手伝った後、1962(昭和37)年に戸田市でコンクリート2階建て29床の戸田中央病院(現・戸田中央総合病院)を開設。昨年60周年を迎え、1都4県下で29病院、6老健施設、特別養護老人ホームなど120施設、従業員総数約1万6000人の医療グループに成長させた。

夢を追いかけて

恩師との出会い

1927(昭和2)年10月、北海道瀬棚町の雑穀商を営む中村家の次男として生まれた。北檜山小学校時代の恩師、能代毅さんが「君は人を助ける医者になれ」と励ました。それを生涯の心の糧とした。後年、恩師の名前を長男の名前にもつけた。病弱だったため心配した母は時々、鯉の生き血を飲ませたという。

1950(昭和25)年3月、北海道大学医学部を卒業して東京へ。先に東京医科大学を出て同大病院に勤務していた長兄の哲夫さんを頼った。同大でインターンをしているときに天才少女歌手、美空ひばりの家庭教師を務め、地方興行にも付き添った。「ひばりちゃんにアイスクリームを教えた」が自慢だった。

「愛し愛される病院」へ

病院経営の手腕は剛腕のようだが、ロマンチストの一面もあった。ロータリー

ばかりの家庭教師を務め、地方興行にも付き添った。「ひばりちゃんにアイスクリームを教えた」が自慢だった。

哲夫さんが板橋で病院(現・板橋中央総合病院)を開設し、手伝った中村さんは後に戸田中央病院(現・戸田中央総合病院)を開設した。東京医科大学を卒業した隆俊さんと一緒に板橋の病院を手伝った末弟の秀夫さんも後に上尾中央病院(現・上尾中央総合病院)を開設。3兄弟とも病院経営で大成した。

クラブの活動を好み、韓国や台湾のロータリーとの国際交流に尽力した。病院経営では「愛し愛される病院」をスローガンに掲げた。地域社会がいつも視野に入っていた。

戸田中央病院開設から10年後に戸田ロータリークラブの会報に寄せた文章は、ロマンチストの一面、見つめていた未来を見せてくれる。

「10年で戸田でも発展し、私たちの病院も大きくなったのは大変うれしい。それでも『しかし』と思う。病人が多い。病院通いの人が多い。私たち医師は病気に至らないための予防と健康管理が本来の仕事ではないだろうか。健康や予防について、私たち医師に相談し、語り合えることのできる『心の病院』としてもありたい。戸田市民の健康管理の殿堂として存続していくことができれば、こんなうれしいことはない。『病院通いよさらば』という時代が到来することを市民と一緒に考えていきたい」

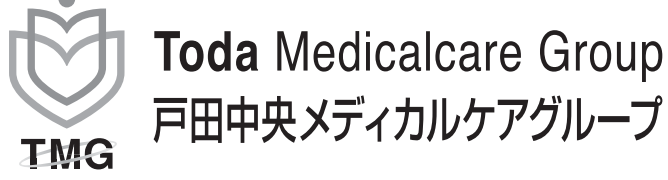
「お別れの会」

(一般献花)のご案内

一、日時 令和五年三月二十一日(火曜日) 午後一時～午後二時
二、場所 ホテルニューオータニ
三、会場 ザ・メイン(階・鶴の間)
(東京都千代田区紀尾井町四番一号)
戸田中央メディカルケアグループ
会長 中村 毅
副会長 横川 秀男

中村隆俊氏の略歴

略歴	主な団体歴	栄誉
昭和2年 北海道瀬棚郡瀬棚町(現・久遠郡せたな町)にて出生	昭和40年 東京家政大学 公衆衛生学教授	平成4年 全国病院経営労務管理学会 副会長
昭和25年 北海道大学医学部 卒業	昭和45年 厚生省医療審議会 委員	埼玉県医師会警察嘱託医会 副会長
昭和26年 東京医科大学内科 入局	昭和50年 戸田ロータリークラブ 会長	平成6年 日韓文化協会 理事
昭和31年 板橋中央病院(現・板橋中央総合病院) 副院長 就任	昭和55年 日華文化協会(現・日台文化協会) 理事	平成7年 全日本病院協会代議委員会 議長
昭和37年 戸田中央病院(現・戸田中央総合病院) 開設 院長 就任	昭和60年 函館東高校 関東青雲同窓会 会長	はこだて観光大使
昭和40年 戸田中央総合病院 理事長 就任	昭和62年 埼玉県警察協力医会 副会長	平成9年 全国病院経営労務管理学会 会長
昭和52年 医療法人社団米寿会附属中央高等看護学校(現・戸田中央看護専門学校) 校長 就任	昭和63年 株式会社エフエム埼玉(現・エフエムネットワーク) 取締役	平成10年 東京経営者協会 常務理事
昭和63年 戸田中央医療グループ(現・戸田中央メディカルケアグループ) 会長 就任	平成元年 全日本病院協会代議委員会 副議長	平成11年 東京医科大学がん研究事業団 理事
令和4年 戸田中央メディカルケアグループ名誉会長 就任	埼玉県医師会厚生年金基金 理事	平成14年 蕨・戸田地区警察官友の会 会長
	埼玉県社会保険支払基金 審査委員	平成17年 東京医科大学 客員教授
		平成24年 東京家政大学 顧問



中村隆俊名誉会長の地域医療への思いが詰まったTMGの病院・施設



- | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|--|--|
| <p>戸田中央メディカルケアグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 西東京中央総合病院(西東京市) 小平中央リハビリテーション病院(小平市) 一橋病院(小平市) 世田谷神経内科病院(世田谷区) | <ul style="list-style-type: none"> 田園調布中央病院(大田区) 八王子山王病院(八王子市) 奥沢病院(世田谷区) 松井病院(大田区) 佐々総合病院(西東京市) 牧野記念病院(横浜市) 戸塚共立第1病院(横浜市) | <ul style="list-style-type: none"> 戸塚共立第2病院(横浜市) 戸塚共立リハビリテーション病院(横浜市) よこすか浦賀病院(横浜須賀野市) 牧野リハビリテーション病院(横浜市) ハートフル川崎病院(川崎市) 茂原中央病院(茂原市) 北総白井病院(白井市) | <ul style="list-style-type: none"> 熱海所記念病院(熱海市) 熱海 海見える病院(熱海市) 戸田中央看護専門学校(戸田市) 横浜未来看護専門学校(横浜市) グリーンビレッジ安行(川口市) グリーンビレッジ朝霞台(朝霞市) グリーンビレッジ蕨(蕨市) | <ul style="list-style-type: none"> とだ健和の杜(戸田市) ヒューマンライフケア横浜(横浜市) 牧野ケアセンター(横浜市) 船橋ケアセンター(船橋市) carina五反田(品川区) 戸田中央腎クリニック(戸田市) 戸田中央トータルケアクリニック(戸田市) | <ul style="list-style-type: none"> TMGサテライトクリニック朝霞台(朝霞市) ONE FOR ALL 横浜(横浜市) 戸塚共立第1病院附属 さくらクリニック(横浜市) 戸塚共立第1病院附属 サクラス乳癌クリニック(横浜市) 戸塚共立おとぎズクリニック(横浜市) 戸塚共立 結の杜 下倉田(横浜市) 戸塚共立ステーションクリニック(横浜市) | <ul style="list-style-type: none"> 戸塚共立あざひクリニック(横浜市) エバラクリニック(品川区) 戸田中央 総合健康管理センター(戸田市) 旗の台小池クリニック(品川区) 自由が丘いずみクリニック(目黒区) 池袋西口駅前クリニック(豊島区) 戸塚共立メディカルサテライト 健診センター(横浜市) |
|---|---|---|--|---|--|--|

「愛し愛された」人柄で人脈も幅広く

中村隆俊氏を偲ぶ

地域医療の発展に多大なる貢献

埼玉県知事 大野 元裕 氏



戸田中央メディカルケアグループを開設して以来、「患者様から、創業者で名誉会長である中村隆俊先生の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。中村先生は、昭和37年に戸田中央病院(現在戸田中央総合病院)を創設して以来、

戸田市にとって恩人とも言うべき存在

戸田市長 菅原文仁 氏



戸田名誉市民・中村隆俊氏の訃報に接し、謹んでお悔やみを申し上げます。中村先生は、北海道大学医学部を卒業後、昭和37年に戸田中央病院を開院されて以来「愛し愛される病院」の理念のもと、市民へ

学生時代を過ごしたご縁から郷土のために

函館市長 工藤 壽樹 氏



戸田中央メディカルケアグループ創業者、中村隆俊名誉会長のご逝去を心からお悔やみ申し上げます。中村隆俊先生は、北海道瀬棚町でお生まれになり、その後、函館

郷土せたな町民の誇りであり榮譽

北海道せたな町長 高橋 貞光 氏



郷土の誇り、せたな町名誉町民中村隆俊先生。このような大きな存在を失うことは、せたな町民にとって誠に痛恨の極みであります。先生のご先祖は、加賀で千石積

埼玉の医療を牽引された故・中村隆俊先生を偲ぶ

埼玉県医師会 会長 金井 忠男 氏



戸田中央メディカルケアグループ名誉会長中村隆俊先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。故・中村隆俊先生は昭和37年に戸田中央病院を開設され、地域で最も信頼される病院として発展を

中村隆俊先生からいただいたご縁を大切に

一般社団法人 日本女子ソフトボールリーグ 副会長兼キャプテン 宇津木 妙子 氏



中村隆俊先生との出会いは、私が日立高崎女子ソフトボール部の監督をしていた昭和63年に遡ります。当時、日立高崎は実業団リーグの一部に所属しており、戸田中央総合病院女子ソフトボールチームは3部に所属していましたが、

各界から追悼の言葉

国内最大級の医療グループの名譽会長として、地域医療・介護・保健の発展に多大なる貢献をされました。

本県においては、グループが開設する3つの病院が第二次救急病院として認定されており、特に、戸田中央総合病院は地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院として、TMGあさか医療センターは埼玉県がん診療指定病院として

学校外活動にかかる費用を給付する制度が創設されるなど、本市の教育の向上・振興にも寄与されました。

平成28年10月には、多年にわたるこれらの功績に加え、スポーツ分野、環境分野、防犯分野、雇用分野、社会奉仕分野など、さまざまな分野において本市の発展に積極的な寄与された功績により、戸田市の名誉市民とされました。

野に優れた経営手腕を揮われてこられました。

また、学生時代を函館で過ごしたご縁から、長年にわたり観光大使として活躍されることにも、北海道道庁や関係団体と密接な連携を築いてこられたほか、女子ソフトボール大会の公式開催によるスポーツ振興など、多方面に渡り郷土のためにご尽力をいただいていたことでもあります。

平成29年3月には、次代を担う

野に優れた経営手腕を揮われてこられました。

また、学生時代を函館で過ごしたご縁から、長年にわたり観光大使として活躍されることにも、北海道道庁や関係団体と密接な連携を築いてこられたほか、女子ソフトボール大会の公式開催によるスポーツ振興など、多方面に渡り郷土のためにご尽力をいただいていたことでもあります。

野に優れた経営手腕を揮われてこられました。

てそれぞれ地域医療の維持・推進に大きな役割を果たしていただいております。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

また、中村先生は、乳がんに関する正しい知識の普及と検診の啓発を目的とした「ピンクリボン運動」に県内で初めて取り組み、乳がん検診受診率の向上に大きく寄与されました。

ただいた激励は、市政運営の大きな励みとなりました。

中村先生が築かれたグループは、本県にとって素晴らしい医療資源であり、大きな宝となっております。ここに御生前の御功績をしのび、安らかなご永眠を心からお祈り申し上げます。

ただいた激励は、市政運営の大きな励みとなりました。

中村先生が築かれたグループは、本県にとって素晴らしい医療資源であり、大きな宝となっております。ここに御生前の御功績をしのび、安らかなご永眠を心からお祈り申し上げます。

ただいた激励は、市政運営の大きな励みとなりました。

中村先生が築かれたグループは、本県にとって素晴らしい医療資源であり、大きな宝となっております。ここに御生前の御功績をしのび、安らかなご永眠を心からお祈り申し上げます。

ただいた激励は、市政運営の大きな励みとなりました。

中村先生が築かれたグループは、本県にとって素晴らしい医療資源であり、大きな宝となっております。ここに御生前の御功績をしのび、安らかなご永眠を心からお祈り申し上げます。

ただいた激励は、市政運営の大きな励みとなりました。

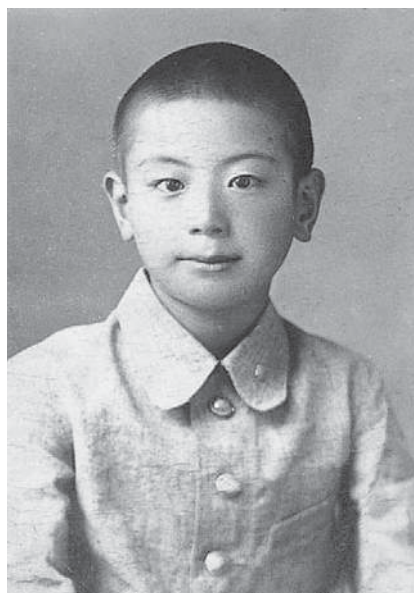
中村先生が築かれたグループは、本県にとって素晴らしい医療資源であり、大きな宝となっております。ここに御生前の御功績をしのび、安らかなご永眠を心からお祈り申し上げます。

故 中村隆俊戸田中央メディカルケアグループ名誉会長の御遺徳を偲び、哀悼の意を表します

(順不同)

- 蕨・戸田地区警察官友の会
- 株式会社 ヤクルト 球座
- 株式会社 明治
- 株式会社 文化放送キャリアパートナーズ
- 早川 裕介 税理士事務所
- 税理士法人 山田&パートナーズ
- エバーグリーン税理士法人
- 株式会社 埼玉りそな銀行
- 株式会社 武蔵野銀行
- 日本生命保険相互会社
- 損害保険ジャパン株式会社
- 扶桑薬品工業株式会社
- 中外製薬株式会社
- 丸石製薬株式会社
- E A ファーマ株式会社
- エレクタ株式会社
- 株式会社 アメニティ
- 株式会社 メッドトラスト東京
- 株式会社 東
- 株式会社 星医療酸器
- トリアエイヨー株式会社
- 有限会社 茅吹医療器械店
- 田商事株式会社
- メデイキット株式会社
- 株式会社 ユヤ
- 株式会社 千代田テクノル
- 株式会社 メディタックス
- 株式会社 ケミックス
- 株式会社 サンキュー
- 株式会社 三和企業
- 株式会社 ウチダシス
- 株式会社 ソフトウェア・サービス
- 株式会社 明治ガス
- 株式会社 テック

座右の銘は「臥薪嘗胆」 地域医療や社会福祉に貢献



幼少期(10歳)



15歳の正月にご家族と(後列一番左)



中学生のころ、中村商店前にて(後列一番左)



板橋中央病院が開院。院長の兄・哲夫氏(前列左)と副院長の隆俊氏(前列右)=1956年、東京都板橋区小豆沢



インターン時代に兄弟3人で家庭教師を務めた美空ひばりさんと=1951年

「愛し愛される病院」が引き継がれていく



本部職員に囲まれる中村隆俊名誉会長(前列中央)=2015年1月



東京医科大学にインターン時代=1949年



挙式当日 幸せいっぱいの隆俊氏と妻・悦子さん=1957年11月10日



1956年8月16日 戸田中央病院が開院。家族で迎える隆俊氏(右)



中村隆俊名誉会長が会長を務めた「藤・戸田地区警察官友の会」の防犯啓発活動「わっとパトロール」=2009年8月



中村隆俊名誉会長(中央)が約60年間力を注いだ戸田ロータリークラブの献血運動=2017年5月



乳がん撲滅の啓発活動「ピンクリボン運動」は戸田市から今や県内全域にその輪を広げる=2019年4月



戸田市の名誉市民第1号に選ばれた中村隆俊名誉会長(左)と神保国男市長(当時)=2016年10月、戸田市文化会館



沢沢栄一賞受賞を祝う会でソフトボール部に囲まれて笑顔を見せる=2017年7月

故 中村隆俊戸田中央メディカルケアグループ名誉会長の御遺徳を偲び、哀悼の意を表します

(順不同)

- 株式会社 MMコーポレーション
- 株式会社 メディセオ
- 日清医療食品株式会社
- ニッポーボーメディカル株式会社
- 株式会社 平和医商
- アークレイマーケティング株式会社
- 大成建設株式会社
- 大末建設株式会社
- 株式会社 鉄鋼ビルディング
- 株式会社 熊谷
- 株式会社 増岡
- 株式会社 太平エンジニアリング
- 田中建設工業株式会社
- 大栄不動産株式会社
- 株式会社 リゾ
- 株式会社 弘電
- 清水建設株式会社
- 株式会社 内藤建築事務所
- 有限会社 高野設計事務所
- アルファクラブ武蔵野株式会社
- 株式会社 東上セレモサービス
- 株式会社 シー・アイ・シー
- 株式会社 東海ビルメンテナ
- 株式会社 ユニマツトライフ
- 株式会社 伊藤
- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- 株式会社 LEO
- 株式会社 ONODERA GROUP
- 株式会社 ONODERA USER RUN
- エームサービス株式会社
- 日本事務器株式会社
- ロイヤルパインズホテル浦和
- NP O 開業支援塾 21
- 学校法人出水学園 出水中央高等学校

「三本杉岩」に誓った3兄弟の結束力

「患者さまを第一」に「月月火水木金金」、ひたむきに労苦を惜しまず

中村隆俊先生との出会いにただただ感謝

埼玉新聞社 代表取締役社長 関根正昌

忘れない柔らかな笑顔

もう30年以上前の話だ。当社の幹部と食事をしていて「最近、原因不明の頭痛で悩んでいる」と打ち明けると、「それはいけない。いい病院があるから、きちんと検査したほうがいい」と言ってくれた。そこで紹介されたのが戸田中央総合病院だった。

苦勞なくして成功なし

「臥薪嘗胆」が中村先生の座右の銘。明るい表情で「生涯苦勞」と言い続けた。「懸命に働く」とを地道に積み重ねた。兄の哲夫さんの板橋の病院で副院長を務めていた頃、往診や急患で埼玉の戸田までもよくバイクを走らせた。冬であろうが深夜であろうが患者がいれば診に行っていた。「防寒のために新聞紙を腹に巻いて走った」と聞いて私が「新聞を本来の目的以外にもご利用いただいたんですね」とつまらぬ冗談を言うと、「新聞は」折れば焼き芋の袋にもなるし、五月人形の兜にもなる」と返してくださった。

胸に刻まれた父の教え

兄の故哲夫氏（IMSグループ）、弟の秀夫氏（上尾中央医療グループ）とともに5万人を超える職員を擁する全国有数の巨大医療グループ「中央医療グループ」を築き上げた中村隆俊先生。その



埼玉新聞の対談企画にて。上尾中央医療グループの名譽会長で弟の秀夫氏(左)と談笑する隆俊氏=2017年10月

ととして、「この伝統に新たなエッセンスを加えていかなくてはならない。地域医療へのさらなる貢献を果たすべく、新しい時代にも対応できる知識と技術に長けた有能な人材を育成するとともに、設備の更新にも努めながら、将来を見据えた組織運営にまい進する。言い換えればソフト、ハードの充実とそれらを使いこなす効率的な運用、選択と集中が、我々に課せられた責務である」と述べた。

この言葉はいま、中村毅会長、横川秀男理事長をはじめとする幹部・職員にしっかりと浸透し、TMGの将来、そして地域の医療体制を不安なきものにしていく。

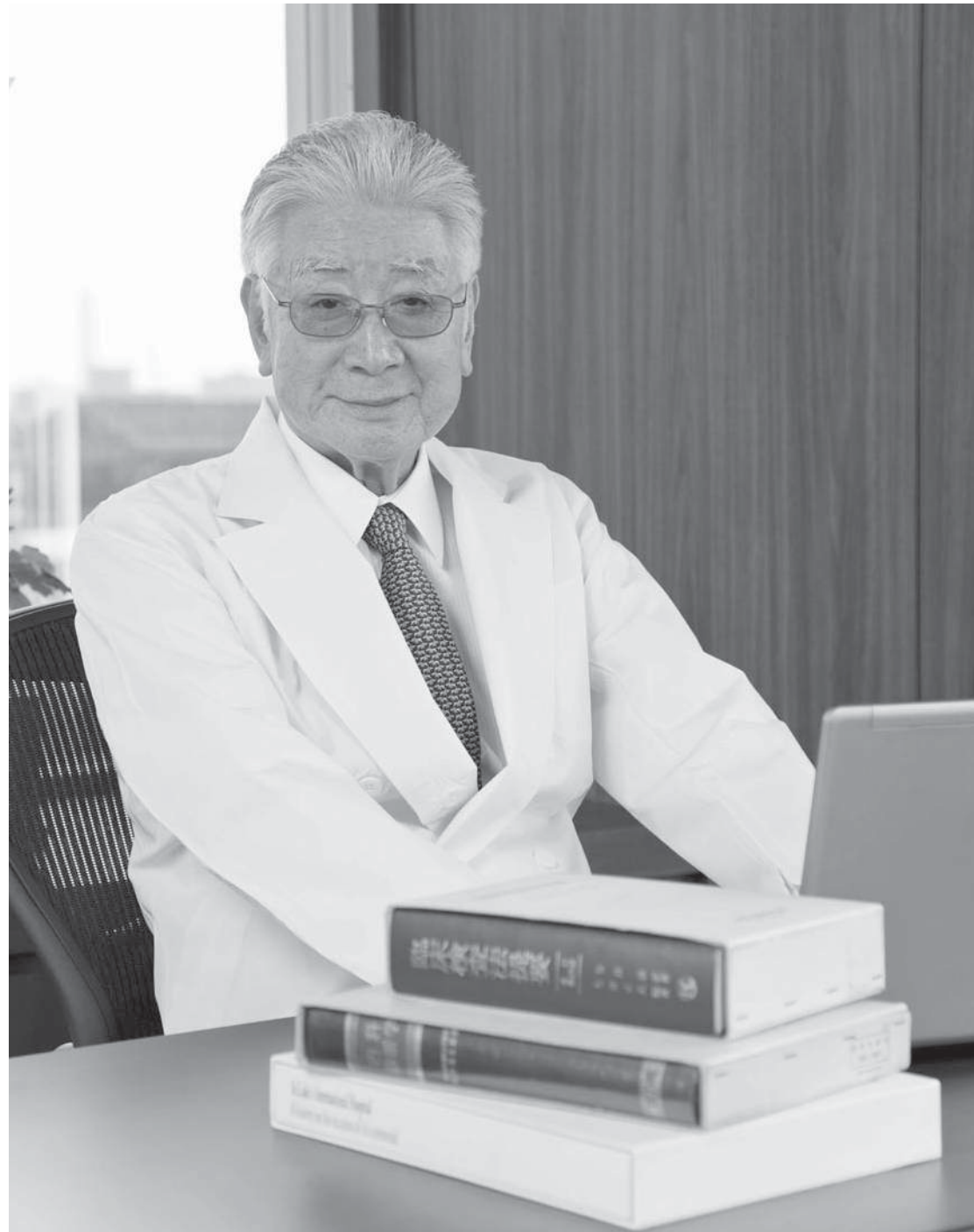
一時、中村先生は右手親指に赤いマニキュアを塗っていたという。これだけ聞くと後ずさりしてしまう人もいるかもしれないが、これは「お酒を飲み過ぎないよう」グラスを口に近づけるときに注意が向くようにとの中村先生なりの工夫だったのだ。それだけ健康に留意し、自分を律していただけに、脳梗塞になってしまったときは悔やしかっただろうと推察される。それでも「少年よ大志を抱け」というクラーク博士の別れの言葉のそのあとを知っていますか。Boys, be ambitious like this old man (私の)とき老人のようにならねえ」と言っていたんです。これが大事なんだ」と言い続けた。ベッドから差し出される手を握ると、まるで握力測定をしているかのよう

にすこい力で握り返された。あの柔らかくも力強い手の感触は一生忘れることはないだろう。30年以上も前の私の頭痛の原因は何だったのか？冷房の直撃や座り仕事の姿勢の悪さなどの合併症だったのかな、と思ったりするが、そのおかげで中村先生とお近づきになれた。

いずれはお会いしていたかもしれないが、若い時分に知り合えた恩恵は計り知れない。運命にただただ感謝するしかない。

中村先生、今はマニキュアを塗ることもなく、兄、哲夫さんと気兼ねなくお酒を酌み交わしているでしょうか。残された地上の星、秀夫さんと「どうだ上尾さん」「どうだ戸田さん」と交信しているのでしょうか。毎日、携帯でお話ししていた頃のように。

中村先生、とりあえずお別れです。本当にお世話になりました。心から御礼申し上げます。どうぞ安らかに。



明るい表情で「生涯苦勞」と言い続けた中村隆俊名誉会長

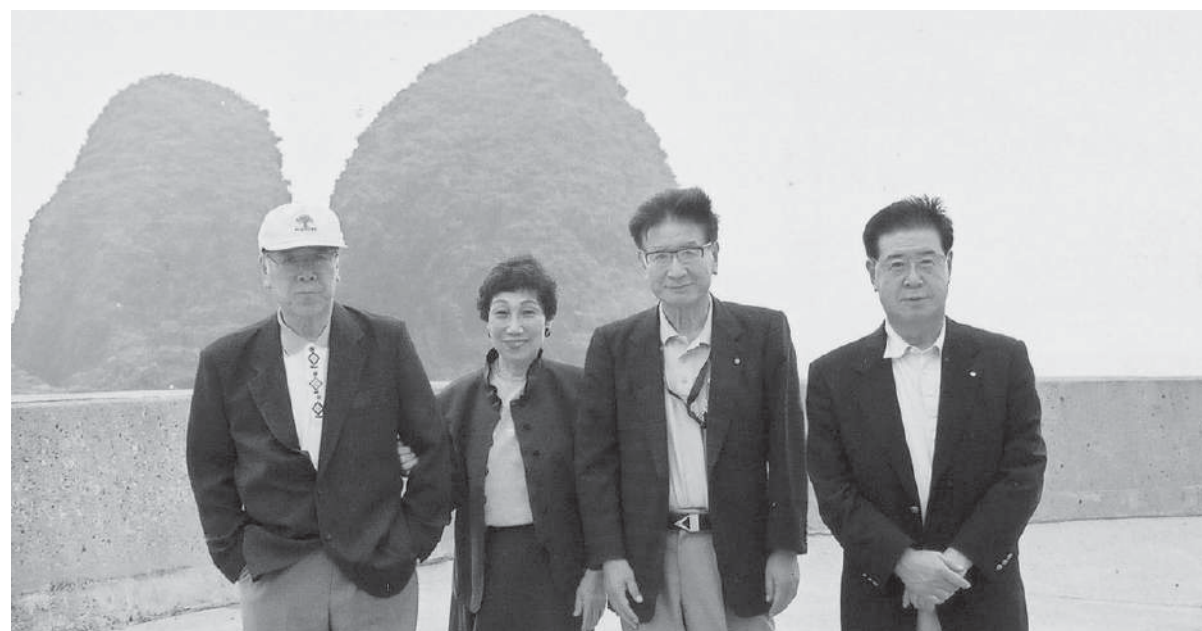
地域医療構築に心血注ぐ

中村先生はかつてこう語った。

「開院当時は『黒船来航』と地元医師会から非難され、艱難辛苦の手探りのスタートだったが、『患者さまを第一』に『月月火水木金金』、ひたむきに日夜、労苦を惜しまず働いてきた。今でもその伝統『救急車を断らない』を貫き、救急病院の役割を果たしているところ。今日、TMG(戸田中央メディカルケアグループ)を発展に導いた一因である。そのうえで新たな未来に向けて欠かせないこ



美空ひばりさんにスケートを教えた=1952年



父・末吉から瀬瀨の海にそびえる「三本杉岩」のように兄弟仲良く生きていくよう教えがあった。(左から)兄・哲夫氏、哲夫夫人の雅子さん、隆俊氏、弟・秀夫氏=2002年8月



CMS(中央医療グループ)トップ陣と=2011年1月